

肺炎球菌ワクチン接種について

★ 肺炎球菌感染症について

肺炎球菌という細菌によって引き起こされる病気です。この菌は、主に気道の分泌物に含まれ、咳やくしゃみなどを通じて飛沫感染します。日本人の約5～10%の高齢者では、鼻や喉の奥に菌が常在しているとされます。これらの菌が増殖し、下気道や血流中へ侵入することで、気管支炎、肺炎、敗血症、髄膜炎などの重い合併症を引き起こすことがあります。

★ 肺炎球菌ワクチンの種類と効果

沈降 20 価肺炎球菌結合型ワクチンを 1 回筋肉内に接種します。

肺炎球菌には、100 種類以上の血清型があり、定期接種で使用されるこのワクチンはそのうち 20 種類を含みます。

肺炎球菌感染症が重症化すると髄膜炎や肺血症などを引き起こすので、予防を目的として肺炎球菌ワクチンの接種をお勧めしています。

★ 肺炎球菌予防接種の副反応

主な副反応には、接種部位の症状（疼痛、発赤、腫脹など）や全身症状（倦怠感、頭痛、筋肉痛、関節痛）などがあります。稀ではありますが、重い副反応として、アナフィラキシー、痙攣などがみられることがあります。

接種後に気になる症状を認めた場合は、速やかに接種した医師（医療機関）の診察を受けてください。その際は、宮津市健康・介護課健康増進係（TEL：0772-45-1624）にも連絡してください。

★ 予防接種を受ける前の注意

予診票裏面に記載している希望の医療機関に、事前に連絡をしてください。

予防接種は、ウイルスや細菌に対する感染を予防するものですから、体調のよいときに接種しましょう。安全に予防接種を受けるためにも、次のような場合に該当しないか確認しましょう。主治医の許可が必要な場合は、事前に接種の可否を確認しましょう。

【主治医との相談が必要な場合】

- ・免疫不全と診断されている方や近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
- ・心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患等の基礎疾患を有する方
- ・予防接種を受けて 2 日以内に発熱や全身性発疹などのアレルギーを疑う症状を呈したことがある方
- ・過去に痙攣をおこしたことがある方
- ・肺炎球菌ワクチンの成分やジフテリアトキソイドに対してアレルギーを呈するおそれのある方
- ・血小板減少性、凝固障害、抗凝固療法を受けている方

【接種が受けられない場合】

- ・接種当日に 37.5℃以上の発熱がある場合
- ・アナフィラキシー(※)を呈したことが明らかな場合
- ・重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな場合
- ・予防接種を行うことが不適当な状態にある場合

※アナフィラキシーとは、通常、接種後約 30 分以内に起こるひどいアレルギー(蕁麻疹、呼吸困難等)反応のこと

★ 接種時の持ち物

- ・「高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種予診票」
- ・接種にかかる自己負担費用
- ・住所や年齢などが確認できるもの(マイナンバーカードなど)

★ 予防接種を受けた後の一般的注意

- ・接種後 24 時間は副反応の出現に注意しましょう。急な変化は、予防接種を受けたあとの 30 分の間に起こることが多いとされています。医師とすぐ連絡が取れるようにしておきましょう。
- ・接種後に高熱や体調の変化、その他局所の異常反応に気づいた場合は、医師の診療を受けてください。
- ・接種後 1 週間は体調に注意しましょう。接種後に腫れたり、赤くなったりすることがありますが、一般にその症状は軽く、通常、数日中に消失します。
- ・接種当日の入浴は差し支えありませんが、接種した部分を強くこすらないようにしましょう。
- ・過激な運動、大量の飲酒は接種後 24 時間は控えましょう。その他はいつもどおりに生活できます。

★ その他

「指定の医療機関」以外の医療機関に入院されている方や、宮津市以外の施設に入所されている方で接種を希望される方は、事前に連絡をください。

詳しくは宮津市健康・介護課健康増進係(Tel:0772-45-1624)までお問い合わせください。